

平塚柔道協会HP内のブログ充実しています!

☆平柔通信☆

平塚柔道協会発行
責任者 会長 奥山晴治

今月の目標・

軸足の強化に取り組もう。

～学年最後の日～第9回上溝柔道教室柔道大会～



3月31日(土),上溝柔道教室主催の大会が開催されました。この大会は学年別の個人戦であり,小学6年にとっては,小学生最後の大会となります。結果は次のとおりです。
(小学2年)原田優勝 (小学4年)石川5位 (小学5年男子)真田5位 (小学5年女子)本多優勝 (小学6年男子)真田優勝
ここ最近練習で意識していた組み手が全体的によく出来ており,その成果が,投げられての一本負けはほとんどいみせませんでした。特に,5年生の真田君は自分の倍以上の選手を背負いで投げするなどして,大いに会場を沸かせました。

～新学年最初の日～神奈川県道場連盟大会～

前日に続き2日連続での試合となりましたが,4月1日(日),県立武道館において,道場連盟主催の大会が開催されました。結果は次のとおりです。

【団体戦】(草野(4年)・山口(5年)・本多(6年)→ 3位

【個人戦】

優秀賞(3人抜き)新井(海)・新井(陸)・佐藤(湊)・本多(結)

敢闘賞(2人抜き)山口(賢)・野上

この大会で団体戦では,初の入賞となりました。



★★あいすけ,ママ友柔道を全国で紹介!★★

当協会でもママさん柔道を指導しているあいすけ(青木先生)が,近代柔道誌において紹介してくれました。

ストレッチのすすめ!柔軟運動をしよう!

昔に比べ,最近の子供には,体が硬い子が多いそうです。実際,平柔の子供たちをみてもそう感じる場合があります。体の硬さは,怪我にもつながりますし,得意技の範囲を狭めることにもなります。練習での準備運動だけでは,十分とはいえませんので,日頃,特に風呂上りにストレッチ運動をすることをおすすめします。ご家族ぐるみで習慣化してみてもはいかがでしょうか。



(5月の予定)

6日(日) 平塚柔道協会杯(団体)

27日(日) 相洋杯

(雑感) ～全日本チャンピオンは高校生～ 4月22日に開催された皇后杯全日本女子柔道選手権において,17歳に高校生,素根 輝が初出場にして初優勝という快挙を成し遂げた。この高校生,4月8日に行われた全日本選抜柔道大会においても世界ランキング1位の朝比奈選手を決勝で破り優勝しており,文字通り「新女王」として,2020年の東京オリンピックの有力選手に名乗りを上げた。この素根選手の強さの秘密はどこにあるのだろうか。筆者は,同選手が**大内刈りと体落としを軸に試合を組み立てているところにあるとみている。そして,引き手は常に自分が有利に持つことを徹底していることもポイントである。**素根選手は女子重量級の中では身長が低い。この身長で大型選手と互角に戦うために,前述の技を中心とすることに行き着いたのだと思う。柔道に対する取り組み姿勢も素晴らしい。このような若きチャンピオンを育成するにはどんな指導をしたらよいのだろうか。本人の自覚に訴え,自ら考えてることを働き掛けていきたい。(五)